

司法ソーシャルワーク研究集会イン名古屋

## 介護負担に起因する刑事事件の弁護をめぐって －社会福祉士の役割はあるか？－

日時:2月24日(土)午後1時～4時半

会場:日本福祉大学名古屋キャンパス南館502号教室

刑事裁判ではさまざまな刑事事件に出会います。高齢の親の介護負担に耐え切れず手をかけてしまう殺人事件があります。高齢者介護の課題は介護保険により一家庭で解決しなければならないことでなく、社会全体で支え合うことになったはずですが、そのかいたく介護負担が起因して被告人となる人が結構多いと思われます。刑事裁判は、事件の背景を明らかにし、被告人の更生、同様な事件の予防につながるものであってほしいものです。このような事件の弁護活動はどのように展開されているでしょうか。そこに社会福祉士の出る幕があるように思います。本研究集会では、実際の裁判例を参考にして、この課題を徹底討論します。

### 第1部 基調講演「介護殺人の実態と刑事裁判」

湯原悦子(日本福祉大学社会福祉学部)

### 第2部 報告「介護負担に起因するある刑事裁判の弁護活動の実際」

上月健輔(岡山弁護士会)

新名雅樹(岡山県社会福祉士会)

### 第3部 ディスカッション

「介護負担に起因する刑事事件の弁護をめぐって－社会福祉士の役割はあるか？－」

話題提供者:上月健輔・新名雅樹・湯原悦子

進行:藤原正範(日本福祉大学ソーシャルインクルージョン研究センター)

主催:科学研究費研究「刑事弁護とソーシャルワーク」グループ

(愛知県知多郡美浜町奥田 日本福祉大学美浜キャンパス内)

責任者:藤原正範(同大学ソーシャルインクルージョン研究センター:k-mfujiw@n-fukushi.ac.jp)

## 本研究集会への参加申し込みの方法

参加を希望される方は、下の送信先メールアドレス宛に、

2月19日(月)午後5時までに、

参加を希望される旨、及び次の情報を送信してください。

- ①氏名
- ②所属
- ③メールアドレス

会場の収容定員のため参加可能人数は40名までです。先着40名をもって、締め切り日を待たず参加をお断りすることになります。

参加の可否は必ず、メールで連絡します。

[送信先メールアドレス]

[k-mfujiw@n-fukushi.ac.jp](mailto:k-mfujiw@n-fukushi.ac.jp)

[fmseihan@gmail.com](mailto:fmseihan@gmail.com)